

プロセスバンドル

プロセスバンドルは、産婦人科領域における超音波検査に際して患者および医療従事者への医療関連感染を防止するため、超音波検査における感染対策プロセスを確認することを目的としています。

1 検査前

1-1	超音波装置に体液・血液などの付着・汚染や破損が無いか確認した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No									
1-2	超音波装置に汚れがある場合は、装置の添付文書やメーカー取扱説明書の記載に従った消毒薬含浸クロスで清拭した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず	1-1が「No」の場合は「該当せず」								
1-3	プローブに汚れや破損が無いか確認した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No									
1-4	スポルディング分類に従いプローブの用途を分類し、それぞれに適切な感染対策を講じた <table border="1"><thead><tr><th>スポルディング分類</th><th>プローブの用途</th></tr></thead><tbody><tr><td>ノンクリティカル</td><td>健康で傷の無い皮膚にプローブが接触する例) 経腹超音波検査</td></tr><tr><td>セミクリティカル</td><td>粘膜や健常で無い皮膚にプローブが接触する例) 経膈超音波検査</td></tr><tr><td>クリティカル</td><td>無菌状態の組織や血流にプローブが接触する例) 超音波ガイド下卵胞穿刺・羊水穿刺</td></tr></tbody></table>	スポルディング分類	プローブの用途	ノンクリティカル	健康で傷の無い皮膚にプローブが接触する例) 経腹超音波検査	セミクリティカル	粘膜や健常で無い皮膚にプローブが接触する例) 経膈超音波検査	クリティカル	無菌状態の組織や血流にプローブが接触する例) 超音波ガイド下卵胞穿刺・羊水穿刺	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	ノンクリティカル用途⇒2-1/3-6へ セミクリティカル用途⇒2-3/3-8へ クリティカル用途⇒2-10/3-9へ
スポルディング分類	プローブの用途										
ノンクリティカル	健康で傷の無い皮膚にプローブが接触する例) 経腹超音波検査										
セミクリティカル	粘膜や健常で無い皮膚にプローブが接触する例) 経膈超音波検査										
クリティカル	無菌状態の組織や血流にプローブが接触する例) 超音波ガイド下卵胞穿刺・羊水穿刺										
1-5	検査前に手指衛生した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No									

2 検査中

A) ノンクリティカル用途（経腹超音波検査など）

2-1	単回使用ゼリーを使用した（推奨）	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
2-2	ボトルゼリーを使用する場合は、継ぎ足しを行っていないものを使用した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず	単回使用ゼリーを用いた場合は「該当せず」

B) セミクリティカル用途（経膈超音波検査など）

2-3	検査毎に新しい手袋を装着した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
2-4	高水準消毒以上で再処理されたプローブを使用した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
2-5	プローブカバー（滅菌済み製品が望ましい）を使用した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
2-6	プローブカバーを取り出しプローブに装着する際は、汚染しないよう新しい手袋を装着して行った	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	

2-7	単回使用ゼリー（滅菌済み製品が望ましい）を使用した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
2-8	プローブの操作は清潔を保った片手で行い、もう一方の手で超音波装置のパネルを操作した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
2-9	検査中にプローブカバーが破損した場合は直ちに検査を中止し、以下の処置を行った		
2-9-1	破損したプローブカバーを外してプローブを流水洗浄またはウェットタイプのクロス等で清拭した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず	検査中にプローブカバーの破損が認められない場合は「該当せず」
2-9-2	新しいプローブカバーを装着して検査を再開した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず	

C) クリティカル用途（超音波ガイド下のインターベンションなど）

2-10	超音波ガイド下の中心静脈カテーテル留置・末梢挿入型中心静脈カテーテル（PICC）留置などの際はマキシマムバリアプリコーション（キャップ・マスク、滅菌ガウン、滅菌手袋を用いた無菌操作）で行った	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず	左記の手技を実施していない場合は「該当せず」
2-11	超音波ガイド下の卵巣穿刺・羊水穿刺・腹水穿刺などの際は、施設の規則等に基づいて個人防護具を使用した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず	
2-12	高水準消毒または滅菌されたプローブを使用した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
2-13	プローブカバー（滅菌済み製品）を使用した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
2-14	単回使用ゼリー（滅菌済み製品）を使用した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
2-15	穿刺針、穿刺アタッチメント等は滅菌済み（ディスポーザブル含む）のものを使用した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
2-16	検査中にプローブカバーが破損した場合は直ちに検査を中止し、滅菌済みのプローブに交換して検査を再開した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	

3 検査後

3-1	検査時に装着した個人防護具は、汚染度の高いものから順に外した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
3-2	検査に使用後のプローブは、手袋を着用し、ゼリーや体液・血液などの目に見える汚れを取り除いてから消毒または滅菌を行った	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
3-3	検査に使用後のプローブのケーブル部分を消毒薬含浸クロスで清拭した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
3-4	消毒または滅菌後のプローブを清潔で乾燥した環境で保管または運搬した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
3-5	検査後に手指衛生した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	

A) ノンクリティカル用途（経腹超音波検査など）

3-6	検査に使用後のプローブを低・中水準消毒薬を用いて清拭した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
3-7	プローブを低・中水準消毒薬を用いて清拭する際は、消毒薬製品の添付文書等に記載されている濃度や接触時間に従って行った	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず	低・中水準消毒薬による清拭を行っていない場合は「該当せず」

B) セミクリティカル用途（経膈超音波検査など）

3-8	検査に使用後のプローブを高水準消毒した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
3-8-1	プローブを高水準消毒薬に浸漬する際は、消毒薬製品の添付文書等に記載されている濃度や接触時間に従って行った	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず	高水準消毒を行っていない場合、または当該方法を使用していない場合は「該当せず」
3-8-2	プローブを高水準消毒薬に浸漬する際は、个人防护具（エプロン、マスク、アイガードまたはゴーグル、手袋（非滅菌））を使用した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず	
3-8-3	プローブを自動高水準消毒装置で消毒した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず	

C) クリティカル用途（超音波ガイド下のインターベンションなど）

3-9	検査に使用後のプローブを滅菌（不可能な場合は高水準消毒）した	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
-----	--------------------------------	--	--

1. 検査前	項目／	項目	実施率	%
2. 検査中				
A) ノンクリティカル用途	項目／	項目	実施率	%
B) セミクリティカル用途	項目／	項目	実施率	%
C) クリティカル用途	項目／	項目	実施率	%
3. 検査後				
共通項目	項目／	項目	実施率	%
A) ノンクリティカル用途	項目／	項目	実施率	%
B) セミクリティカル用途	項目／	項目	実施率	%
C) クリティカル用途	項目／	項目	実施率	%
プロセス合計	項目／	項目	実施率平均	%

実施のチェック： それぞれの項目に該当しているかどうかを「Yes」「No」で記録します。項目がYes/Noのいずれにも該当しない場合は、「該当せず」で記録します。

実施率の算出方法： 実施率は項目毎に「Yes」と「No」の総数を分母とし「Yes」の数を分子として算出します。「該当せず」を選択した項目は分母に加えません。

参考資料

1. Society for Maternal-Fetal Medicine Special Statement: Reducing the risk of transmitting infection by transvaginal ultrasound examination. Society for Maternal-Fetal Medicine (SMFM) Patient Safety and Quality Committee, 2020
2. ISUOG Safety Committee Position Statement on safe performance of obstetric and gynecological scans and equipment cleaning in context of COVID-19. International Society of Ultrasound in Obstetrics and Gynecology (ISUOG), 2020
3. Guidelines for cleaning transvaginal ultrasound transducers between patients. World Federation for Ultrasound in Medicine & Biology (WFUMB) Safety Committee, 2017
4. Guidelines for cleaning and preparing external- and internal-use ultrasound transducers and equipment between patients as well as safe handling and use of ultrasound coupling gel. American Institute of Ultrasound in Medicine (AIUM), 2017
5. 経膈プローブの取扱いに関する注意. 日本超音波医学会 (https://www.jsum.or.jp/committee/uesc/pdf/prove_care.pdf)